

特集2 通信モジュール
Special Issues 2
Communication Module



執行役員 通信機器事業部長

脇 友 博
Tomohiro Waki
Executive Officer
Communications
Products Division

新たなビジネスの創造

Challenge for Creating New Business Opportunity

今や無線通信無しでは、私たちの生活は成り立たなくなってきました。例えば、携帯電話、TV、ラジオ、カーナビ、インターネット、タクシー無線、警察・消防無線など数を上げれば限りが無い程、生活に密着し、活用され、便利に使われています。我々JRCは、この事実を改めて認識し、無線機メーカーとしての責任を果たすべく、社会に貢献していくべきと考えます。

このように無線通信が当たり前のように使用されている状況で、「このように使えば、もっと便利になるのになあ。」と感じられる場面がまだまだ数多くあります。最近、安心・安全、環境、医療の分野での無線利用が社会から注目されており、使い勝手の良さを工夫すれば、利用の場面がもっと広がると考えます。我々はこの要望に応えるべく、高信頼性で、安価で、小型省電力の通信モジュールを開発し、供給していかなければならないと考えます。

通信機器事業部には技術、営業、カスタマサービスの部門があり、業務用無線機、PHS携帯端末、無線LAN端末、GPS受信機、二輪車用ETC端末など、まさに、安心・安全、環境、医療分野に活用できる商品を担当しております。今後、責任を持って世の中で活用できる商品を生み出し、無線通信が当たり前に使われる世界を広げていきたいと考えます。

今回の技報では、無線通信をより活用しやすくする為に、小型省電力化、高信頼性に注目して、通信モジュールの開発についてまとめています。その中で、

- (1)無線機の活用方法。
- (2)小型化の実現方法。
- (3)省電力化について。
- (4)モジュールの活用法。

を報告しております。

これらの技術は発展途上ではありますが、今後も、お客様の使い勝手を考えて、より小型化、省電力化、高信頼性、そして安価な通信モジュールの開発を計画しております。

お客様はさまざまな場面に存在しております。そのお客様の喜ぶ無線通信の商品の形、仕様を考え、愛される商品を生み出していかなければならないと思います。

「さすがJRC」と言われる商品を生み出し、お客様の痒い所に手の届く商品開発、営業、サービスをしていくことで、JRCはこれからも世の中の安心・安全、環境、医療分野へ貢献してまいります。